

分類	意見
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 候補地を見させていただいたときに、事業用地は非常に景色がよいところだと思うのでランドマークになっていくのはいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 思い切って高齢者のためになるようなものを目指してもいいかなと思う。青梅市も拠点を集約して行って、中心に集めるようなイメージで今後（まちづくりを）進めていくのだと思うので、一番集まらないのは高齢者だと思う。高齢者の方が使える施設が市の中心にあって、若い人は動けるので空き家が増えている中なので、空き家に補助に出して住んでもらって中心に集まっていくような環境が大きな転機となるといいかなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ホールというのは単に芸術文化の発表の場所というだけではなく、人々がそこに行って楽しみを感じ、そして自由に文化交流できる、そういう場所でありたいという法律ができています。整備基本計画の中のにぎわいの創出、にぎわいの拠点、人と人がつながっていく拠点ができると考えていければと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 「みどりと清流」がコンセプトとあるのなら、それに沿ってホールのコンセプトを考えていっていいのかなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 青梅の中心部が昭和レトロをコンセプトとしてきたので、新しく建てる公共施設も、それを意識したものを建てたほうがよいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 趣味に応じて人が集まってくるようなホール建てるとういと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代において市民が高齢になっても自分が楽しいことができる場所を求めると思う。その人たちが集まれる材料がこの市民ホールにあるとういかなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 多目的でやるにしても多少のブランディングみたいなものをしていけば振り向いてくれる率が上がると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 市役所があり、ホールもあるなら、東青梅は市民の憩いの場になるといいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 事例ですが、福島県の須賀川市にホールの施設がありまして、そこでは、あえてホール以外の施設が複合されていて、スタジオ、コンビニ、図書館や子どもの屋内の遊び場ですとか、スタジオと図書室が隣り合わせになっており図書室からスタジオが見えるような作りになっている。市民の方がぶらっと来て、くつろぐ、屋外のまちのような施設ができています。
	<ul style="list-style-type: none"> 青梅に住む私たちが、身近で本物の芸術文化に触れることのできる施設が欲しい。市民が主体的に参加して、いきいきと相互にかかわり合いながら文化を創造したり、地域の魅力を発信していくための施設、50年先までその中核となる市民ホールを残さなければならないと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 新しい市民ホールを建てる時には、ぜひ実際に使う人間の意見を聞くチャンスもつくっていただきたいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 空間にたくさん人が集まるだけでなく、創造的とか文化的な、賑わいもあるのではないかなと思う。これが青梅市に活力を生み出す大きな力になるのではないかなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 事業用地は、青梅の歴史的な文化的な、入り口的な場所にあると思うので、それをうまく活用できたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> イノシシの形というのをもっとシンボライズして、ホールの名前でもロゴでもグッズ等を展開できないかなと考える。 	

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅は観光が中心なので、何かそういう落ち着いた歴史のまちに、それに加えてホールをつくって、みんなが楽しめるようなホールにしたいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅と東青梅の間がパツとしないので、そこをハブとして青梅の文化や色々なものを集まるようなホールになるといいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市街は青梅らしいレトロな雰囲気をもって、新市街は商業ゾーンとして賑わいや買い物等で住宅地からも人が出てきて、そこがうまく交わると青梅の発展につながると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市街の両端に高校がそれぞれあり、このまちに来る高校生がこの施設で交われたりとか、高齢者の方たちとかも、イベントがなくても人が集まっている場所になるといいなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの方向性、1つはハイクオリティ、2つ目は平土間の多目的、3つ目が青梅の特徴を活かしたものが考えられる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市全体に暮らしている人（普段ホールを活用しない人）とどのように文化施設を結びつけていくのか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や芸能などがあって、芸能はもともとは農業があって、自然の中で形づくられた文化が未だに若い人達からお囃子などでやられてたり、改めて財産として活かしていくことが重要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に羽ばたく芸術家の育成ということで、これからの若い人たちが育っていく。これはクラシックということではなく色々な分野があると思いますが、そういったものを育成できる場であってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を通じた人とのでありや交流のある場所としたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地がいい場で、イベントが無くても市民ホールに来ることが目的となるような場所になってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅の木材を活かして趣のある空間が演出。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールがソフトとして発信、波及していくアウトリーチしていく、そういった役割が果たせたらいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・、ホールを作るのであれば多少まちに開かれた状態で、誰もが出入りしやすいようなホールが目指されるべき。高校生や中学生の活力をこのホールへもっていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他所からきてもそこで鑑賞して、観光に回れるようなそういったものを建てた方がいい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現に保ち続けている色々な意味での文化的な資源、芸術があったり、そのようなものをこの施設で発見したり、作り上げてたり、共有することができるという。
	<ul style="list-style-type: none"> ・たまぐーは遊び場として提案した、ここは「広場」として中心にホールがある人々が集まる。建物が外側を向いてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合長期計画案の基本姿勢の「あそぼうよ！青梅」遊びは文化の基本。これを入れたい。

分類	意見
文化振興	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅は非常に文化的なまちで、お囃子をやる子どももいっぱいいるが文化を大事にするという文化条例がない。文化条例が大事ということを合わせて、市のほうでも考えていけばと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅に住む我々にとって、青梅の文化がわからない人が多い。行政の方が興味を持っていただく、そういうのが必要なのかなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅の文化はなにかから始めないとホールそのものの形態がわからなくなると思います。民俗芸能が大事な地域もありますし、地域によって全く違います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅の中の歴史とかお祭りとかとつながったものが、文化条例とか青梅の文化とはどういったものかを考える青梅市の指針があって、ホールもそれに沿って作ったということができるといいのかと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の文化を大事にすることもいいのですが、これからの青梅の文化を創り出せるような場所というのがホールのコンセプトではないのかと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化って何だろうとか、文化条例みたいなものをつくってほしいということを提案として出せたらいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給の話から考えれば、それを補完するために同じような施設、そういったものを補完すればいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの前に、文化振興のビジョンなり方針というものをきちんと考え、議論して、その上に立って一番ふさわしい文化施設のあり方というふうに置いていくのが通常だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や観光を抜くと古き良きといったものが青梅のイメージだと思う。文化の面で、しっかりとした定義付けができていないので、ホールを作るうえでも、青梅としての文化が何なのか定義付けた上でやるのがいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅の文化芸術条例を作ったり、市役所の中に文化芸術を扱う部署がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統からの新たな文化の発信が行われる施設である必要がある。 	
ホール形態 ・規模	<ul style="list-style-type: none"> ・200席のバンケットホールならすでに平土間で文化交流センターにあるので、これからどういうふうに棲み分けをしていくのが大事かなと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にはホールを廃止する方向に流れてる。新たに作っているところもありますが、ある一定の規模のものはやめてコンパクトな形のホールになっている。階段上はなかなかない、平土間の形が多いですね。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市の規模でいうと1,000席のホールは大きいと思う。小中学生全員と考えて1,000人必要でも500人と500人で2回に分けてもいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅という地域は西多摩の中心と捉えられた時代がある。税務署、都税事務所、西多摩建設事務所等、西多摩で一つしかない官公庁施設が青梅に集中している。それに付随した関係民間団体がたくさんあってその総会とかいろいろなイベントや行事が行われている。それに一番使われていたのがスイートプラム（バンケットホール）ですね。集まる人数の規模によってどの部屋を使うか、そういう点では大変重宝していた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動で、文化交流センターが一番良かった政策だと思ったのが、飲食が可能なこと。飲食可能なホールというのは文化活動する人間、お祭り騒ぎをする人間にとってはすごく大事（同窓会等での活用）コンベンションホール的な要素の両方必要だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能型で宴会や会議にも使えると音楽会とバンケットホールとして使うというと、同じ日に重なってくる可能性がある。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市の中には飲食を伴う集まりができる会場がとても少ないので、このたまぐーが飲食を伴うことができる会場としてオープンしたということは非常に大きなことだったと思う。市民ホールにも活かせたらいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな壇か平土間かという議論よりも、どのような活動にふさわしい使い方をしていくかということでもあるのではないかと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅から近いし、場所から考えればそんなに競争力のないところではないと思う。仮にひな壇型のホールをつくったとしても、他の地域のホールとある程度対抗できると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数は700～800。例えば1階が600で200ぐらいバルコニーや2階席
	<ul style="list-style-type: none"> ・視界がさえぎられることなく舞台の端までみることができる環境
	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台に集中できる座り心地がいい椅子。親子室、車いす席
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールとは別にコンベンション機能のある部屋がほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>木材を活かすというのがあります。それが人との関係にも活かされると思います。そして木材を生産した文化として産業の歴史がありますから、その継承を表象することにもなるので、木を使うことが妥当だと思います。</u>
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージではなくて、響きをクラシックに合わせたようなりハーサルルームがあればうれしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・残響可変装置について、入れた後の運用される方が実際に使うかが重要となっていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・たまぐーの多目的ホールでは展覧会・展示を含め文化芸術活動を行うのに無理がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本物の文化芸術に触れられる機能がほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な舞台の広さ、間口が8間、奥行きが8間ぐらい
	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面台付きの楽屋、シャワールーム、スタッフルーム
	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮された音響、反響版もそうですが、照明設備
	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な数の吊りのバトン
	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台までの同線を配慮した搬出入口
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・青梅の特徴ということで、ホールの中に、青梅産材、青梅の林業、木を使った青梅らしさを出すという景観を含めたものがないかなと思う。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の後ろが開けば奥多摩の山々が見えるとか、他にない魅力を考えたホールができればいいなと思う。普通に四角いものを建てるのではなく、地の利を活かしたものであると魅力になると思う。 ・やっぱり青梅は森林が多くて、木の温もりが青梅らしいイメージがあるなと思う。 ・2つの性格の違ったホールを置くと、遮音的に不利になるぞという話があるんですけど、そのときもこのエキスパンション・ジョイントで躯体が分かりますから、遮音的にも有利になるだろうと考える。
立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所をつくって、よそから人に来てもらうということなので、差別化だと思う。東青梅駅から平面を歩いていけるといいうのは、結構メリットになると思う。 ・場所は高台にあって、この景色を活かせるようなホールができるといいのかなと思う。 ・今回の建つ場所は駅からも近いですので、電車まで来てもらえれば降りたらすぐになると思います。 ・多くの台数がとめられる駐車場。また立体であればお手洗いもつけてほしい。 ・利用されるためにはその施設へのアクセスが良い必要があります。自分も駐車場がない場所にはあまり行きたくないです。高齢になったら公共交通を使うことになると思いますが、青梅市全体の計画に絡めた形でアクセスしやすい場所で催しものができる施設になれば当然、青梅市民は行きますし、それをもとにランニングコストも回せると思います。
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中に知っている大人がいるというのがすごく大事だなと思う。文化活動の拠点は子どもたちのつながりとか違う子たちと出会えるのが大事だと思う。 ・用途として本番は大ホールを使うことが多いが、練習ではゆとろぎですとりハーサルルームがあって、そちらを使っている。それからゆとろぎの地下に平土間のパーティができるような広い部屋があるのですけれども、そこをお借りしたりですとか。音楽室とか、わりと色々な部屋がありますので、ぶちぬきができる会議室ですとかそこら辺をお借りしてリハーサルとか練習はやります。 ・ゆとろぎの稼働率が高いことを考えると同様の施設を作ると非常に効果的な気がする。休日しか使われないのであれば、平日は商業施設に貸すとかそのような方法もありだと思う。 ・地の利的にゆとろぎや福生には勝てないのでそのようなこともありかと思う。予約が取りやすいとか、ネットで取りやすい、SNS で情報発信するのもありかと思う。 ・多くの方に参加意識をもっていろいろなイベントやっってもらう方向に持って行かなければならないと考える。 ・市内の人たちに活用してもらえようとする必要もありますが、青梅にこんな面白いものがあることを発信していくようなことができるといいのかと思う。 ・ホール以外の場所でフリーで集まれる場所が結構トレンドで、誰もが予約するのではなく、集える場が結構多い。 ・外部と内部のリソースを有効に、地域の状況を考えながら活用していく。
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・運営については市民協働型で行っていただきたいなと思う。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民にとってのホールへの要望というのは、社会教育や文化活動の拠点としてというのもあると思うので、活動内容や技術面のアドバイスなどもできる人材などがセットしているということで、やっぱり建物が建つだけじゃなくて、そこに誰がいるか、どういう人がいるかがすごく大事なことだと思う。 ・ 文化施設運営に関わる専門性、おそらく今、青梅に蓄積されていないものをどのように呼び込んで、すでにあるものと融合させていく ・ 演題、常駐のプロの舞台、照明のスタッフの常駐 ・ 市民協働でプログラムなどを考えていく必要があるのではと思います。 ・ 市民が主体となってやっているものを繋いだり、支えるようなファシリテーター的な応援していく人が必要となるケースもあると思います。 ・ 数百席規模のホールとなるとしの直営での運用は困難。専門家などの外部の力を活用すべき。 企画から実施まで市民と一緒に参加できないかを提案します。名前としては市民コンサルタントという名前をつけてみましたが、この立場をと市の中で作られる文化施設を作る部署と協働で意見をまとめ挙げていく
稼働率	<ul style="list-style-type: none"> ・ その施設がどのような運営をしているかが重要になると思う。なぜゆとりぎの予約が取りにくいのかというと、やはり稼働率が高い。それはホールの設計の段階からどのように使っていくかと市民の参画によりその人たちが入って、かなり検討していると思う。 ・ 平日は高齢者の催し物が増えてもいいのかと思う。そうなれば平日の稼働率も上がると思う。 ・ 市民の利用が第一だが、市民だけでは稼働率がこれから先どう考えても上がらないと思う。外部からの呼び込みというのが大切かと思う。 ・ まちとか、青梅の旧市街地あたりにプラスαのストーリー性みたいなものを組み込めたら、もっと稼働率が上がるのかと思う。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青梅市民がゆとりぎを借りるのは困難。それぞれの市で市民優先枠がある。近隣の羽村や福生と同じように使えるのであれば、申し込みも青梅市民も羽村、福生と同じ条件で申し込みできれば広域連携は進むと思う。 ・ 広域連携は全国的に結構やっている。うまくやるには同一の市民枠で考え、役割分担を行っている。 ・ 児童合唱団、市民合唱団、吹奏楽団などの定期演奏会等、全部市外に行ってる。市民優先なのでなかなか予約がとれない。秋ですと羽村市の文化祭、福生市の文化祭と重なるとその期間は使えないとかいろいろある。
付帯機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちが一番使っているのは文化交流センターで、練習として使い勝手が非常に良いので、こういう場所が増えたらいい。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議所では文化よりは事務的なスペースがほしいと、西多摩の官公庁街をイメージした意見が出てきます。 ・ 練習したりする場所がもうちょっと必要だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティFM ・ 芝生の広場や屋上展望、レストランがほしい。 ・ 書道や絵画が展示できる機能がある部屋
備品等	<ul style="list-style-type: none"> ・ フルコンサートサイズと少し小さめのセミコンサートサイズのピアノが2つ。 ・ グランドピアノの移動用の台車。 ・ 度調整可能なピアノ保管庫。 ・ 十分な台数の平台。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設を見て、建てて終わりではなくて、維持するためにはお金がかかる。文化をどうやって盛り上げていくか、そのへんも不足しているので、市民の方が細々と学校の団体が使っている段階で終わっている。もしつくるのであればそのへんも含めてやらなければならない ・ ホールの複合施設を設計して思うのは、建築では複合するとコストが高くなる。 ・ 建設した以上はちゃんとした性能のいいホールにしていかななくてはいけない。実は建設費だけで考えてはいけなくて、それ以降の維持管理費とか、改修費はまた別としても、そのお金を含んで、つくった以上はそれをずっといいものとしていく。音響効果もいいし、照明もいいし、皆さんが集えるホールにするには、それだけのお金を出していかないと、いいホールはできない。 ・ <u>計画の段階である程度受益者負担の仕組みをしっかりとつくといいので</u> ・ <u>受益者負担の考え方は、文化ホールは受益者負担ば位置づけではないといったものが、文化の条例や方針を考えると出てくると思います、病院や役所などと同じ意味として位置付けられると考え方が違ってくると思う</u> ・ <u>箱モノは維持管理に負担がかかる。市の負担にならないものにしたほうが良い</u>

分類	意見
その他	・もしお金がなくて音楽ホールを作れないならば、音楽ホールをやめて、ステージ付きの体育館を作って河辺の機能を移転してそういう施設にしてもとの考え方もあります。その中で、誠明学園の北に文化施設建設予定地の看板があります。そこは東京都の土地らしいのですが、その計画も止まっているようですが、東京都にお願いして、2,300の小さいホールを作っても良かった